

連盟ニュース

292

神奈川 5

2009.5.12



「残雪の五竜岳を目指して」(場所：北アルプス・遠見尾根) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

非常事態宣言と遭難対策部の活動予定 巻頭言にかえて

	遭難対策部部长 田村	2
09クリーンハイク第3回実行委員会報告		3
ヤングクライマーズフォーラム 菊地敏之氏 講演会	6/22	5
第12回自然保護講座のお知らせ	6/12~13	5
全国ハイキング代表者会議開催のお知らせ	6/27~28	6
第17回全国ハイキング交流集会in唐沢鉱泉	9/12~13	6
熊出没に注意(事務メーリングリストより転載)		8
2009年度 丹沢大山ボランティアネットワーク総会報告		8
決算報告書記載相違の訂正とお詫び		蝦名 9
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		9
事務局長会議報告		磯部 8
県連のスケジュール		10
登山時報5月号紹介		7



神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
発行責任者 後藤 真一
TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

非常事態宣言と、遭難対策部の活動予定

巻頭言にかえて

遭難対策部部长 田村

いきなり事故の話で恐縮ですが、今年に入ってからの方山内の重大事故（死亡、行方不明）多発により、全国遭難対策部の井芹部長より、非常事態宣言が出されました。内容は次ページの通りです。

幸い神奈川県内では死亡事故の発生にまでは至っていませんが、事故、ヒヤリハットは多発しています。県連ではハイキング学校、リーダー学校、そして遭難対策部の講習会と事故防止に勤めておりますが、参加者は決して多いとは言えません（リーダー学校は参加者は多いですが、半分は労山会員外です）。各会において十分な教育活動が行われていれば良いのですが、そうとも言い切れないようです。そこで参加の無い人や人にはそれなりの理由があるのではないかと思います、遭難対策部としてアンケートを4月の事務局長会議にて各会にお願いしました。5月に回収、6月までに集計・対応を考えてゆきたいと思っておりますので、各会ともご協力をお願いします。またアンケートは各会にお願いしましたが、個人レベルでも県連や遭難対策部にご要望、ご意見のある方はFAX、メールなどでお知らせください。

また昨年10月より、関東ブロック内での講習会には互いに参加できるようになりました。連盟ニュースなどを通して他県の講習会も案内しますので、ご利用ください。

遭難対策部で今期、下記の講習会講習会を検討中です。

1. 確保トレーニング：全国的に確保に関する事故が増えていると聞いています。また確実に止められるようになるには、実際に荷重を受け止める訓練（体験）が必須と考えています。簡単なようで重大事故につながりやすい確保技術を、体で覚えていた

きたいと思えます。

2. ビーコントレーニング：冬山に入る人（登山以外も含む）にとってビーコンの所持は常識となりました。方山ではいち早くビーコンの普及に努めてきましたが、普及が早かった分、新知識の習得、最新のデジタルビーコンへの対応はおろそかになっているようです。そこで改めて、ビーコンの普及と正しい・新しい使い方の講習を行います。ビーコン初心者の方、ビーコンを買い換えた方、昔習ったきりの方などは、是非参加してください。

（補足：ビーコン技術は雪崩に遭ったときに使われるものですが、それ以上に雪崩に遭わないようにするための知識も重要です。こちらは関東ブロックや全国の雪崩講習会が担当となりますので、そちらへの参加をお願いします）。

3. ファーストエイド講習会：好評のため毎年行われ、何度も参加される方もいるくらいですが、時間の制約から教え切れてないことは山ほどあります。そこで今年は上級編を計画します。上級編といっても、難しいわけではありません。例年の講習会では教えきれなかった内容や実技を中心に行いたいと考えています。

他にも、遭難対策部部内で行う勉強会への有志参加なども企画したいと思っておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

遭難対策部連絡先

メール：kanagawa_soutai@yahoo.co.jp

FAX：050-3488-3765（遭対部宛であることを明記してください）

重大事故多発する現状を受け非常事態宣言

2009年4月15日

全国連盟遭難対策部部长 井芹昌二

2009年3月末日にて行方不明2件3名、死亡事故3件3名の事故の報告を受けた。わずか3か月間に起きた重大事故の数は異常事態である。

2009年重大事故の内容は次の通りである。

1月4日、北海道・無意根山（1460m）で道央地区連盟の女性会員（61歳）が下山時にパーティーとはぐれ、単独行動となり視界不良のため雪庇を踏みぬき5～6m滑落する。本人からの携帯電話連絡で生存が確認されたが、悪天候のために救助された時には死亡していた。

1月11日12日、長野、山梨県境・鋸岳（2685m）にて東京都連盟男性会員（43歳）が11日、単独で鋸岳へ入山する。予定日を過ぎても下山せず、13日よりヘリによる捜索、会のメンバーによる捜索が行われたが確認できず行方不明となっている。

3月10日 群馬県谷川岳岨山綾で群馬県連盟の男性会員2名（57歳）（53歳）が下山せず捜索を行ったが見つからず行方不明となっている。

3月18日兵庫県六甲山系・蓬莱峡で大阪府連盟の男性会員（67歳）が18日午前9時ごろ大屏風取り付きで発見される。事故現場状況からフィックスロープをセットし単独で登攀し、懸垂下降中に何らかの原因で滑落したと推測される。（目撃者なし）検視の結果から死亡推定時間は困難である。

3月29日 長野県八ヶ岳山麓・角木場で東京都連盟の男性会員（49歳）がアイスクライミング訓練、トップロープのセット後、懸垂下降で何らかのミスが生じてグランドフォールしたと推測される。（目撃者なし）

登山内での死亡・行方不明者は上記であるが、最近では元会員の死亡事故、重大事故の報告もある。重大事故に繋がりがねない危険要素を含んだヒヤリハット（インシデント）はかなりの数にあると予想される。事故の状況が明確なものについては早急に分析をおこない。二度と同じ間違いを繰り返す事の無いように早急に対策を講じていただきたい。行方不明者については会を中心に捜索が続けられ、遭難の原因がいずれ明らかにされることと思う。

各都道府県連盟・各会の遭難対策担当者は非常事態を全会員に「対岸の火事」では無いこと知らせていただきたい。

「重大事故は決して起こさない・起こさせない」

単独登山は控えよう

天候判断は的確に

確かな技術・体力を

登山計画は綿密に

追記（田村）：4月28日に北アルプス後立山連峰・鳴沢岳で発生した京都府立大山岳部3人の死亡事故のなかにも、登山会員が含まれているとのこと。

09クリーンハイク第3回実行委員会報告

日時 2009.4.20(月)19時~21時

場所 県民サポートセンター

1. 各会のクリーンハイクコースと登山道整備の担当を決めました。

申し込みがまだの会は次回の実行委員会の時か、又はメールで清掃コースとリーダー名と連絡先(無線番号か、なければ携帯電話番号)を決めて早めをお願いします。

各会コース申し込み状況

	コース名	清掃場所	担当会	リーダー
A	大倉高原	大倉~大倉高原~堀山の家	藤沢山の会 横浜ハイキングクラブ	
B	大倉尾根(花立)	堀山の家~花立山荘	カモの会	
C	大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘~塔ノ岳	アルパインクラブ横浜	
D	丹沢山	塔ノ岳~丹沢山	地平線の会 (4名参加) 山ブキの会 (1名参加)	石田美帆 青柳百合子
E	鍋割山	二俣~後沢乗越~鍋割山	小田原ナーゲル山の会	
F	新大日	戸沢出合~新大日	横浜こぶしの会	
G	戸沢林道	大倉~戸沢出合		
H	西山林道	大倉~二俣		
I	表尾根ニノ塔	ヤビツ峠~ニノ塔~大倉	川崎柴笛クラブ	佐藤三郎
J	表尾根三ノ塔	ニノ塔~三ノ塔~大倉に下山		
K	岳ノ台	ヤビツ峠~岳ノ台	川崎ハイキングクラブ	八島彰子
L	イタツミ尾根	ヤビツ峠~大山	アルパインクラブ横浜(10名一般含)	
M	大山下社	下社~大山~ヤビツ峠に下山	やま++ 川崎ハイキングクラブ	岩佐貴美子
N	大山日向薬師	日向薬師~見晴台~大山~ヤビツ峠	川崎ハイキングクラブ	吉岡 貴
	クヌギ山		山ゆりの会	草野正昭

丹沢水質調査の担当は決まりました。

	場所	担当会	担当者
沢1	水無本谷(出合いとツメ)	雪童山の会	
沢2	源次郎(出合いとツメ)竜神の泉	みずなら山の会	湊 正雄
沢3	勘七の沢(出合いとツメ)	アルパインクラブ横浜	
水場	大倉高原山の家と塔ノ岳の水場と後沢乗越の水場	横浜ハイキングクラブ	
名水	葛葉の泉と春岳沢水場とゴマ屋敷水場	藤沢山の会	池田昭雄
沢4	一の沢	地平線の会	鈴木

登山道整備

場所は「ヤビツ峠」から「岳の台頂上」の間 県の職員2名が参加指導

参加募集人数30人 現在は、相模アルパインクラブ10人、やま++2人。

2. 安全・救助体制(海輪救助隊長参加)

今年も安全に実施できるようサポートしたい 例年並みの体制計画にするので 各会は清掃コース、参加者とリーダー名と連絡先(無線コールサインか、なければ携帯電話番号)を書いた山行計画書を、早めに出して欲しいそれによって人員配置等詳細に組んでいく

3. その他

*クリーンハイクについて行政側との(高橋実行委員長)打ち合わせは、ゴミの置く場所や分別、登山道整備等その他調整が済みました

*報告集を、作るにあたり、各会から写真や感想文を書く人をあらかじめ決め手おいて欲しい

*前夜祭(5/30)見晴らし小屋申し込みは(高橋実行委員長)まで

次回5/18 19:00~21:00県民サポートセンター406にて実行委員会終了後は神奈川県自然保護職員を招き講演予定

以上

ヤングクライマーズフォーラム

菊地敏之氏 講演会

10代から先鋭の登山を始め、国内外に記録多数。山岳ガイドとして、また山岳ライターとして、登山技術の普及に長年関わっている。元クライミングジャーナル編集長。現(社)日本山岳ガイド協会上級登攀ガイド。著書は『最新クライミング技術』『ベーシック・フリークライミング』『我々はいかに石にかじりついてきたか』(いずれも東京新聞出版局刊)など多数。

登山時報では2007年5月号から2009年4月号まで「山で見かけるミョーな人たち」で辛口の連載をしてもらった。5月号からの新連載にも注目して欲しい。

日時 2009年6月22日(月)18:00~受付 18:40~20:40
場所 かながわ県民センター402号室(横浜駅西口より徒歩5分)
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

参加対象 すべての登山自然愛好家
参加申込 先着80名(事前に氏名・所属・年齢・性別・連絡先をメール・FAX・郵送で下記事務局まで。所属:労山会員は団体名、学生生徒は学校名、その他の方は未記入でもOK)
参加費 学生・生徒・労山会員は無料、その他は500円。当日支払い

申込・問い合わせ先

日本勤労者山岳連盟・事務局

住所 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

フリーダイヤル 0120-44-2742

URL <http://www.jwaf.jp> E-mail jwaf@jwaf.jp

日本勤労者山岳連盟 青年学生委員会主催

第12回自然保護講座

日程 = 09年6月13日(土)午後1時より
14日(日)午前12時まで

学習場所 = 日光市足尾町「足尾環境学習センター」

講演 = 「よみがえれ、足尾の緑」

講師 神山英昭氏(足尾に緑を育てる会会長)

この他に、銅山閉山直後の足尾の風景写真など、パワーポイントを使って説明します。

また、講座参加者による足尾の山への植樹。銅山の山として知られる「備前橋山」に登って足尾の山々の説明を行います。

参加者は、所属する会に登山計画書を提出してください。

参加費用 = 宿泊費など、8000円(1泊2食付き懇親会費及び資料代含む)

日帰り参加者は、資料代として1000円いただきます。

定員 = 30名(宿泊者のみ)

申込方法 メール jwaf@jwaf.jp

または、ファックス 03-3235-4324

氏名、住所、電話、所属会名と「第12回自然保護講座申込」と申し込んでください。

主催 日本勤労者山岳連盟自然保護委員会

丹沢の熊情報をお知らせします。

4月16日、知人が、西丹沢で熊に遭遇しました。

場所は、菰釣山から椿丸へ降りる途中の大樽～織戸峠間。大きな雄熊が15mくらい先から近づいてきて、笛を吹いたら逃げたそうです。

世附の商店のお父さんも、釣り場の方も「最近熊の目撃が多い。」と言っていたので、あの流域に入渓する場合、気をつけていたのですが、熊がウロウロしているのは沢沿いだけじゃないみたいです。

<目撃情報>

世附の林道

セギノ沢方面：親子熊

法行沢方面：雄熊 この熊が広い範囲でウロついていてらしいです。

水ノ木沢方面：親子熊

世附のゲート先のトイレ下の監視員の小屋の方に、どこに入山(入渓)する。と伝えと、ここ最近の目撃情報など丁寧に教えてくれるそうです。

菰釣山はメジャーですし、椿丸の辺りも、今後、読図で使用される会もあると思いますので、お出かけの際は、熊鈴など付けるなどして充分お気をつけ下さい。

カモの会 志村 杏子 (Shimura Kyoko)

2009年度 丹沢大山ボランティアネットワーク総会報告

日時：2009年4月5日(日)13:00～16:00

場所：神奈川県自然環境保全センター

加盟団体代表と県側4名約20数名の参加の中、初めに世話人代表の奥津氏と神奈川県自然環境保全センター所長松田氏のあいさつで総会が開催されました。

労山からは、磯部さんと大用が参加しました。まず2008年度の活動、決算報告と2009年度事業計画、予算、世話人等の改選が行われ新たに会計に大用が承認されました。

次に「ボランティア団体活動助成事業」として助成対象の5団体より下記の活動報告がありました。

神奈川県山岳連盟からは丹沢二ノ塔周辺清掃をNPO法人北丹沢山岳センターは、神ノ川流域広川原整理と植林について NPO法人四十八瀬川自然村は 柳川、菖蒲地域の里山整備の実績を NPO

法人みろく山の会は 大山5水系の水質調査と16丁目植樹 大倉尾根登山道整備 小草平植生観察をNPO法人神奈川ウォーター・ネットワークは丹沢山塊に生息するイワナの分布と系統について活動報告がありました。

最後は「丹沢再生のための県民協働事業について」みろく山の会が、県側と締結した大倉尾根の登山道維持管理補修活動(水切り工、ステップ、土嚢置き、設置した施設の効果改善点等をセンターの支援を受けながら平成25年3月までの5ヵ年)の報告と意見交換が行われました。

労山も長年、水質調査やクリーンハイクを、また数年前からは植樹や登山道整備をクリーンハイクの時に県の指導を受けながら行っていますが、これからも丹沢大山ボランティアネットワークの一団体として協力、共同して活動を展開していく事の大切さを痛切に感じました。

大用ユキ子

事務局長会議の報告

出席：川崎HC、川崎柴笛、ACY、横浜HC、こぶし、藤沢山の会、相模AC、雪童 やま++、山ブキの会、地平線、メーグリ家
事務局：三上、蛭名、磯部

12年間県連の事務局長をやってくれていた村松さんが家庭の事情でおりることになった。後任の誰も出せずに、事務局長会議は常任理事会役員が交代で当たることとなった。

各クラブの報告

総会の日程は川崎HC(6/28)、柴笛(3/29)、横浜HC(4/9)、藤沢HC(4/19)、山+(4/12)、相模AC(6/21)

討議内容は

相模の交流ハイクは今年中止となりました。楽しみにしてくれた会のみなさんにはごめんなさい。理由は実行委員のなりてがなかったからです。

連盟ニュースももう紙ではいらない会もできているように、会の機関誌や山行計画などや募集なども電子化が進んでいる。

しかし、その環境を持たない会員が多い会もあり、顔を合わせて話をすることも大事で、会としも、県連として課題の一つである。

事務局長会議出席も持ち回りの会もあり、仕事や家庭でなかなか会にも参加できない状況がある。各会は苦勞して会運営をしているのであるから、県連としても事務局長が空きがというのは問題がある。

早急に体制を取るべきだという意見もある。

会員は減少方向にある。増えても同じ数が退会したりしている。高齢化や新人の教育問題など課題はある。

会の教育について、報告あり。

柴笛の新人向けに1年間ある。講師もベテランと新人で組んで行く。

やま++ 月2回の例会の1回を教育(読図、気象、ロープR C T、セルフレスキュー)講師を持ち回りで行き、教えることが学ぶこととよく勉強してきた。今期は、新人が求めるものを教えていこうとしている。

地図に関しては、新ハイの井の頭支部が復活。便利であると報告された。

県連会計担当の蝦名です。

2月から4月半ばにかけ、私の体調管理不十分のため会計の仕事ができず、皆様には大変ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。今は仕事に復帰しております。

3月15日県連の定期理事会で会計の決算報告をしましたが、議案書の決算報告書に記載相違がありました。訂正をしてお詫びいたします。

訂正箇所・・・議案書22ページの第31期上期決算報告書

次期繰越金の内訳	現金	789,700	1,081,486
	横浜銀行	0	26,272
	郵便局	26,272	0
	合計	815,972	1,107,758

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎ハイキングクラブ 報告=二瓶 誠 計106名(男51 女55) 平均61歳

3/18 高柄山/高尾(8)	3/29 大山三峰/丹沢(4)	トレ
3/19-22 湯ノ丸山/小諸(3)県連HL 学校	3/29 ミツバ岳/西丹沢(6)	4/12 二子山/三浦半島(26)県連HL 学校
3/20-22 畦ヶ丸-菰釣山/西丹沢(5)	4/5 多摩川河川敷(26)体力測定	4/12 霞丘陵/奥多摩(7)
3/28 鋸山/房総(12)	4/5 沼津アルプス/伊豆(1)	
3/28 真鶴半島(5)	4/8 倉岳山/中央沿線(11)	
	4/11-12 谷川西黒尾根/谷川(8)雪	

アルパインクラブ横浜 報告=岸 計38名(男23:女15)平均 歳

4/3 湯河原幕岩(2)	4/11-13 三原山(1+1)	4/26 谷川岳・西黒尾根(4)
4/4 丹沢(2)	4/12 塔ノ岳(2)	4/29 湯河原幕岩(1+1)
4/4 河又の岩場(2)	4/15 高尾山(1)	4/29 丹沢箱根屋沢北側の尾根(1+1)
4/4-5 梅池上部斜面(1)	4/16 塔ノ岳(1+1)	4/30 高尾山(1)
4/10-12 鹿島槍ヶ岳東尾根(1+1)	4/19 塔ノ岳(3)	4/30-5/1 雲取山(1)
4/11 川又(2+1)	4/19 会津駒ヶ岳(3)	
4/11-12 東吾妻浄土平(2)	4/19 弘法山(2+1)	

横浜こぶしの会 報告=田辺美由紀 計26名(男18人 女8人) 平均53歳

4/3-4 マチガ沢雪トレ(5)	4/25-26 両神山(6)	5/1-4 小川山(1+会員外)
4/10 高尾山(2)	4/27 矢倉岳(1+会員外)	5/17 岩人レ広沢寺
4/19 今倉山(4)	5/1-4 鹿嶋槍ヶ岳(5)	5/31 クリンハイク

相模アルパインクラブ 報告=水村和也 計41名(男30:女11)平均 歳

3/28 幕岩(2)	4/05 表尾根(1)	4/18 藤嵐沢(1)	予定
3/27-29 小金沢連嶺(1)	4/05 蛭ヶ岳(2)	4/19 広沢寺(5)	5/02-05 槍ヶ岳・北鎌尾根(3)
3/29 滝郷沢左俣(2)	4/06 ミズヒ沢(1)	4/19 水棚沢(2)	5/01-06 仙丈岳~塩見岳(4)
3/28-29 八海山(1)	4/11 幕岩(1)	4/19 丹沢主稜縦走(1)	5/02-06 湯川・小川山(1)
4/04 城ヶ崎(1)	4/11 幕岩(2)	4/19 天王尾根(1)	
4/04 城ヶ崎(1)	4/12 広沢寺(5)	4/17-19 万太郎谷/芝倉沢(1)	
4/05 ヨモギ平-表尾根(1)	4/11-12 城ヶ崎(2)	4/26 大山南尾根(1)	
4/05 広沢寺(7)	4/18 仙洞寺山(2)	4/26 丹沢山/三峰尾根(1)	
4/05 表尾根(1)	4/18 丹沢山/三峰尾根(1)		

みすなら山の会

報告:阿部ひろみ 計30名(男21 女9) 平均 歳

4/17-18 谷川タカマガキ(4)	4/26 岩殿山(1)	5/2-4 高座山・諏訪山(1)	5/10 幕岩(9)
4/17-19 爺が岳東尾根(3)	4/26 鷹取山(8)	5/2-5 五竜G 中央稜G	5/10 荒船山(2)
4/18 塔ノ岳トレ(1)	4/26 大室山~加入道(1)	〇稜(1)	5/16-17 金峰山・瑞がき山(2)
4/18 丹沢山トレ(1)	4/29 鳴虫山(5)	5/2-5 鹿島槍雪崩調査(1)	5/23 丹沢白馬新道(3)
4/18-19 城ヶ崎(1)	4/29 丹沢山トレ(3)	5/2-5 池山吊尾根~北岳(2)	5/22-23 針ノ木雪渓山スキー(3)
4/19 鷹取山(6)	5/1-4 飯豊連峰縦走(2)	5/5 鷹取山(3)	5/23 丹沢源次郎沢~源次郎尾根(1)
4/19 リーダー学校広沢寺(2)	5/1-5 北鎌尾根(1)	5/9 鷹取山	5/31 クリーンハイク
4/24-25 月山スキー(1)	5/1-6 四国東赤石山縦走・石鎚山(6)	5/9 西丹沢 石棚沢(1)	
4/25 幕岩(1)	5/1-5 白山山スキー(3)	5/9-10 鳥取 扇ノ山・氷ノ山	
	5/1-4 小川山(1)		

やま+

報告:栗田 彰 計11名(男8:女3) 平均49.6歳

4/8 勉強会(10)	4/22 例会(10+1)	5/10 10R C T
4/12 総会(11)	5/2-4 奥秩父(2)	
4/18 高松山(2)	5/2-4 奥秩父(1+1)	
4/18 藤沢・てんぶら山行(3+2)	5/3-5 小川山R C T(1)	

県連のスケジュール

5月		6月		7月	
1 金		1 月	常任理事会	1 水	登山リーダー養成学校机上講習
2 土		2 火		2 木	
3 日		3 水	登山リーダー養成学校机上講習	3 金	
4 月		4 木		4 土	
5 火		5 金		5 日	
6 水	登山リーダー養成学校机上講習	6 土	H Cリーダー学校実技講習 救助隊訓練	6 月	常任理事会
7 木	H Cリーダー学校机上講習	7 日	H Cリーダー学校実技講習 救助隊訓練	7 火	
8 金		8 月	遭対部会/ 連盟news印刷	8 水	
9 土	H Cリーダー学校校* ショ*計画	9 火	事務局長会議/連盟news発行	9 木	
10 日	H Cリーダー学校校* ショ*計画	10 水		10 金	
11 月	連盟news印刷	11 木		11 土	
12 火	事務局長会議/連盟news発行	12 金		12 日	登山リーダー養成学校実技講習 H Cリーダー学校校* ショ*計画
13 水		13 土		13 月	遭対部会/ 連盟news印刷
14 木		14 日	登山リーダー養成学校実技講習	14 火	事務局長会議/連盟news発行
15 金		15 月	09クリーンハイク反省会	15 水	
16 土		16 火	全国理事会	16 木	H Cリーダー学校机上講習
17 日	H Cリーダー学校実技講習 登山リーダー養成学校実技講習	17 水		17 金	
18 月	第4回刈-刈実委委員会	18 木	H Cリーダー学校机上講習	18 土	
19 火	全国理事会/救助隊運営会	19 金		19 日	
20 水		20 土	H Cリーダー学校校* ショ*計画	20 月	
21 木	事務局部会	21 日	H Cリーダー学校校* ショ*計画	21 火	全国理事会
22 金		22 月		22 水	
23 土		23 火		23 木	
24 日		24 水		24 金	
25 月	第5回刈-刈実委ミーティング	25 木		25 土	
26 火		26 金		26 日	
27 水		27 土		27 月	自然保護委員会
28 木		28 日		28 火	
29 金		29 月	自然保護委員会	29 水	
30 土	水質調査 刈-刈前夜祭	30 火		30 木	
31 日	2009クリーンハイク			31 金	